

本学における国際教育協力20年目の節目にあたりこれまでの 取り組みを総括し、大学を起点とし、関係諸団体と連携した今 後の国際教育協力のあり方を発信するために、本フォーラムを 実施します。

## 場所

# ステーション コンファレンス東京 6階

100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー



- ●JR東京駅日本橋□直結 新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
- ●東京メトロ東西線大手町駅B7出口直結

#### 対象者

幼・小・中・高等学校の教員、学生、大学教員、 国際協力関係者、

教科書出版会社・学校教材開発販売会社・ 国際協力事業関係コンサルタント会社の関係者など

#### お問い合わせ

#### 鳴門教育大学教員教育国際協力センター事務室

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地 電話番号 088-687-6043 (事務室)

e-mail: incet@naruto-u.ac.ip

URL: http://www.naruto-u.ac.jp/incet/

受付

10:00-10:15

開会 挨 拶 鳴門教育大学長 山下 一夫

10:20-11:00

特別講演

「文部科学省における国際教育戦略の方向性」

11:00-12:00

主催者報告 「鳴門教育大学での国際教育協力―JICA研修、

技術協力プロジェクト、草の根協力等・

説明者 鳴門教育大学教員教育国際協力センター所長 小澤 大成

12:00-13:00 休憩

13:00-14:30 事業紹介

「国際教育協力の展開と鳴門教育大学の役割」

教育系大学における草の根技術協力事業の展開 (13:00-13:30)

講 師 北海道教育大学国際交流・教育コーディネーター **仮谷 宣昭 氏** 

日本の教科書・教師用指導書作成技術を途上国でどのように展開するか (13:30-14:00)

講 師 (株)学校図書第四編修部 教育産業課 **駒沢 進氏** 

(14:00-14:30) 日本型教育を生かした途上国支援プロジェクト (株)コーエイリサーチ&コンサルティング教育·産業人材開発部次長 奥川 浩士 氏

14:30-14:50 休憩

14:50-15:40 講演

「日本の教育支援に期待するもの」

モザンビークの教育改革と日本への期待

Dr. MAHALAMBE Feliciano Mapezuane 氏

15:40-16:20

### 「JICAにおける国際教育戦略の方向性と 鳴門教育大学の海外展開への期待」

 師
 独立行政法人国際協力機構(JICA) 人間開発部次長兼基礎教育グループ長
 石原 伸一 氏

16:20-16:30 閉会 挨拶鳴門教育大学副学長(国際交流担当) 松岡

17:00-18:30 情報交換会(参加者:発表者等希望者)

文部科学省、外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)、 一般社団法人海外コンサルタンツ協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

学校図書株式会社、株式会社新興出版社啓林館、東京書籍株式会社、 -アイ・シー・ネット株式会社、株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング、株式会社国際開発センター、株式会社パデコ、 ケニス株式会社、株式会社ナリカ、株式会社日本標準



# 平成29年度鳴門教育大学国際教育オープンフォーラム

~日本型教育の海外展開をどのようにすすめるか~

申 込 書

ふりがな <b>代表氏名</b>	
所 属	
連絡先 (勤務先等)	<b>⊢</b>
電話	
E-mail	
職種	幼・小・中・高等学校の教員 ・ 大学の教員 ・ 学生 企業関係者( ) ・ その他( )
ー 情報交換会 参加の有無	<b>有 • 無</b> いずれかに○をつけて下さい。 ※参加費等詳細につきましては 後日、ご連絡させていただきます。
他の参加者 氏 名	(
	(
	(

e-mailや電話でも同様の申込みができます。

国立大学法人鳴門教育大学 教員教育国際協力センター事務室

e-mail: incet@naruto-u.ac.jp

TEL: 088-687-6043

※できましたら、2月16日(金)までに お申し込みください。

だいたいの参加数を把握するためのものです。 当日の参加もお待ちしております。

※上記の個人情報は、本シンポジウムの事務処理、 御案内及び情報提供に使用し、他の目的には 利用いたしません。

会場 ステーションコンファレンス東京 6階

#### ▶JR「東京駅 | 日本橋口改札直結

新幹線日本橋口改札より徒歩1分 八重洲北口改札より徒歩2分

▶東京メトロ東西線「大手町駅」よりB7出口直結

